大清水中だより

教育理念　自由と責任

教育目標　よりよく生きる力を育成する

2026年（令和８年）１１月２日発行　１１月号

藤沢市立大清水中学校　〒251-0002　藤沢市大鋸1400　TEL　0466-50-8353　校長　山下　尚子

学校ホームページ　http://www1.fujisawa-kng.ed.jp/johsh/

校門の木々が赤く染まるようになってきました。また、**ひと雨ごとに秋が深まり**、朝晩の寒さが身に染みるようになりました。10月には多くの行事が秋に行われ、生徒たちの成長を実感しています。その一部をご紹介します。

積み重ねた練習の成果が実る　合唱コンクール

本校では、去る10月15日に 第43回 合唱コンクールを湘南台市民シアターで開催いたしました。「コンクール」という形のため、勝敗はつけなければならないのですが、競い合うなかで磨き合い、どの学年のどのクラスも、とても素敵な歌声と立派な発表態度でした。本番も立派でしたが、本番までの練習を重ねる過程があってこそ、学びや成長を感じられる行事だったのではないかと思います。賞の獲得に関わらず、どの学年のどの曲も練習を重ねたからこその響きをきくことができました。

平日のお忙しいなかにもかかわらず、参観くださった皆様、また、安全のための見守りや受付業務などのお手伝いをしてくださったボランティアの保護者の皆様、大清水の会の合唱にご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

最優秀賞

1年	3組	「マイ バラード」
2年	3組	「あなたへ」
3年	3組	「信じる」

♫学年合唱　迫力と調和（ハーモニー）。 どの学年も練習の成果が発揮され、とても素敵でした。

1年「Let's Search for Tomorrow 」



2年「14-fourteen-」



3年「大地讃頌」



⇧舞台裏の円陣も発表も、一体感！　圧巻でした。

5組と市内音楽会有志合唱団「春愁」



⇧手話と歌と歌詞が心に響く、温かい合唱でした。

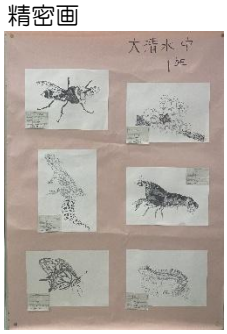
【実りの秋】🍁🍁🍁ほかにもたくさんの実りが！ 一部をご紹介します。

＜かがく展と市内科学部発表会＞　＜中学校美術展＞　＜藤沢市民センターまつり 吹奏楽部＞

夏休み自由研究



精密画



力作揃いの啓発ポスター



1、2年生バンドのデビュー！



＜中学校音楽会＞



「春愁」5組の3年生と一緒に夏休みにも練習した成果を発揮。
そのハーモニーと手話で表す言葉の力強さは
聴衆を沸かせ、大きな拍手に包まれました。

Let‘s make enjoy school!

文法的にあれ?と思う人もいらっしゃると思いますが、覚えやすさに重点を置いたスローガンです!

【生徒会本部新役員紹介】

10月7日、生徒の皆さんの代表として働いてくれる生徒会本部役員の選挙が行われました。しっかりと自分の言葉で「学校をもっとよくしたい」という気概にあふれ、聞いている皆さんも真剣に参加していたと聞いています。

自分も人も大切に。自分たちのいる場所をより良くする。みなさんの言葉や行動が「より良い学校をつくっている」のです。

2025年度生徒会本部役員の皆さん、たくさんの企画を実践し、より良い学校を作ってくれてありがとう。そして、2026年度 新本部役員の皆さん、前年度本部を引き継ぎ、これからさらに期待しています。

新 会長　〇〇〇〇 さん
副会長　〇〇〇〇 さん
会計　〇〇〇〇 さん ・ 〇〇〇〇 さん
書記　〇〇〇〇 さん ・ 〇〇〇〇 さん



今年も意欲に満ちあふれたメンバー!期待大!!

写真当日は2学年企画「ハロウィン仮装（希望者）」をしています。

【11月 避難訓練】 11月、朝読書や学活の時間を使って**「情報伝達訓練」**を行います。

大地震の発生により「放送機器が使用不可」「管理棟と教室棟の行き来ができない（割れ目発生）」等の想定で、けが人・病人の情報を把握し、状態によって対応しながら全員の命を守る訓練です。余震も想定し、ヘルメットも着用します。 最近も震度5弱の大きめの地震が関東地方でもありました。

訓練は本気でやる。昨年度、防災講演会で教えてもらったことをつないでいきましょう。

防災に完全はありません。 訓練や知識を積み重ねて命を守っていきます。

【藤沢市中学校新人戦大会】

ソフトテニス部	個人戦4回戦進出　湘南地区大会出場
サッカー部	1回戦敗退（高浜中と合同チーム）
バスケットボール部	男女　湘南地区大会出場
卓球部	個人戦　湘南大会進出
陸上競技部	藤沢市中学校駅伝男子7位
バドミントン部	女子個人戦　ダブルス優勝



3年生が部活動を引退し、進路に向けて本格的に動いています。先日28日には、3年生が「部活動にかけた想いを共有する」学年集会を開催しました。その競技や活動にまっすぐに向き続けた気持ちもあれば、人間関係を含めた葛藤もあったことと思います。しかし、**最後に感謝で締めくくることのできる活動**が**できた**こと、そこが大切だと思っています。それは一人ひとりの人生を・切り開く力となっていくことでしょう。

これからは2年生が部活動の中心となります。1年生とともに、頑張れ！大清水中生！！

【9月　清流祭の振り返り】

遅くなりましたが、9月に行った清流祭の振り返りを紹介します。生徒の皆さんの感想を担当の先生からお借りして、一人ひとり読みました。

どの学年も、とても丁寧に、内容もしっかり自分の考えを表せていました。そのなかでもうれしかったのは、「今回の清流祭で自分も清流祭をつくる一員だったと感じましたか」という問いに「とてもそう思う」がたいへん多かったことです。自分たちのいるこの「大清水中学校」を自分たちの手でつくっている、という実感、それを持っているみなさんを誇らしく思います。もしかしたら、「まだまだ自分は清流祭をつくっている、とはおこがましくて・・・」と謙虚に思ってくれていた人もいるかもしれません。来年は、そんなこと思わないくらい、自分で役割を見つけて一緒に盛り上げていきましょう。拍手、盛りあげ隊も役割の一つですし、よりよい作品をつくることも清流祭をつくっています。自分の良さや可能性を伸ばす取り組みで学校をつくっていく。素敵だと思いませんか？

ここでは、◆「あなたにとって印象に残った場面をひとつあげてください」
◆「今後も清流祭を学校行事として行うことには意味があると思いますか」
というニつの問いに対する回答を紹介します。

◆「あなたにとって印象に残った場面をひとつあげてください」

◇美術部の作品　影の付け方が気になった。光の当たり方、濃淡などすごい。
◇実行委員をやったこと　リハーサルをやってこんなにすごいのか、と思った。
◇２年生の英語の展示　イラストも上手だし、「今度読んでみようかな」と思う本が何冊もあった。
◇３年生の修学旅行のステージ発表　奈良京都の歴史の深さをしっかりと知ることができた。
◇リトカのダンス　それぞれ個性があり、どのグループもかっこよかった！（部長団も！）
◇防災新聞　災害が起きたら、何をすればいいのかとかが書いてあった。絵やイラストの位置、文の書き方が見やすい作品が多かった。防災館に入った経験を生かしていた
◇歌とギター　すごくよかった。　山名先生は元々ギターが弾けるのか？
◇吹奏楽部の演奏　特に最後が盛り上がって、一番楽しかった。リズムが速い曲なども演奏できてすごい。
◇国語のマイビブリオメモリーズ　一人一人の個性が出ていて面白かった。

◇家庭科の調べ学習　いろいろな食べ物のことをしれて食べたくなった。先生がよい作品にカードを貼ってくれていて、参考になった。よかった。
◇大清水の主張　　漢！本当の気持ちをみんなの前でいえる勇気がすごかった。来年もやってほしい。
◇藤沼先生の踊り　　突然のオファーでもやれてすごい。普段では見られないものが見られた。
◇1 年社会科　　一人一人が違う国を調べているので、とても見応えがあった。内容もわかりやすかった。
◇科学部・保健委員会　　実験に学びがあったし、クイズにしてくれてわかりやすいしおもしろかった。
◇2 年社会科　　県の魅力や観光地、お土産などが書いてあり、行ってみたくなった。
◇英語科の展示　学年が上がるにつれ、レベルが上がっていて学年の差を感じた。
◇グリーン部　　パンフレットにクイズを載せて、答えは展示に、ってする方法が面白い。植物を自分で調べたりしないから新鮮だった。
◇5 組　　シュートすごい！いろいろ工夫があった。展示されているシーサーがかわいかった。

◆「今後も清流祭を学校行事として行うことには意味があると思いますか」
◇他の人の展示を見ると自分のためになり、次に生かせるかもしれないことが見つかる。文化部などの発表や成果を発揮できるいい行事だと思う。
◇全学年が楽しく盛り上がれる機会はなかなかないので、学校全体が一つになれることは必要だと思う。ほかにも、ほかの部活動等の発表を見られるのは素直に楽しかった。逆に自分の作品が展示され、それを見た感想を周りの人からもらえるのもよいと思う。
◇生徒だけがつくる楽しさではなく、先生も盛り上がりや楽しさをつくっていてとてもいいなと思った。大清水中の歴史をつくれそうなくらい楽しいイベントだからこれからもずっと続けていきたいと思った。
◇みんなで何かを完成させたときの達成感やうれしいなどの気持ちが大切だと思います。プラスな感情だけでなく、緊張や不安などの少しマイナスな感情もあるかもしれないけど、助け合えば大丈夫。
◇自分の強みなどをみんなに知ってもらういい機会だと思う。　…教科とは違う学びの場になっています。

オンデマンド配信

藤沢市学校保健会第６９回学校保健大会のご案内

【主催】　藤沢市学校保健会　藤沢市教育委員会
【後援】　藤沢市医師会　藤沢市歯科医師会　藤沢市薬剤師会

１．研究発表
「呼吸と姿勢から紐解く 子どもの口腔発育」
学校歯科医部会　　高田 幸太郎 医師

２．講演
演題：「子どもを性暴力から守る
～私たち大人ができること・すべきこと～」
講師：小笠原 和美（おがさわら かずみ）氏
慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員



警察庁に入庁後、各地の警察本部で初の女性本部長などを歴任。
慶應義塾大学教授を経て、現在は警察大学校国際警察センター所長を務める傍ら、ICPO（インターポール）のアジア代表として初の女性執行委員も務められています。
現場や研究の立場から性暴力問題の深刻さに直面し、現在は「予防教育」「被害者支援」「SOS に気付ける大人を増やす啓発」に精力的に取り組まれています。
本講演では、子どもたちの安全と尊厳を守るため、周囲の大人が「見て見ぬふりをしない」ために今できること・すべきことについて、最前線の知見を交えてお話しいただきました。
著書等　絵本「おしえて！くもくん プライベートゾーンってなあに?」（東山書房）

【配信期間】 2026（令和8）年11月16日（月） ～ 2027（令和9）年1月18日（月）
次のＵＲＬまたは二次元コードからご視聴ください。
https://www.youtube.com/watch?v=-81Q5enbenk